

第6回 両総用水の路ウォーク《東金》

平成28年6月4日（土）に「第6回 両総用水の路ウォーク」が昨年の大網白里市内での開催に引き続き、今年は、東金市内にある両総用水を巡るコース（約 15km）で開催されました。

この催しは、国営事業によって新しく生まれ変わった両総用水を巡り、先人たちの想いや歴史を学ぶことを目的として毎年開催されているものです。

例年、両総用水と一部区間（利根川から栗山川の間）を共用している房総導水路の施設もコースに含まれ、参加者には房総導水路についても理解を深めていただいています。今年は、東金市にある東金ダムがコースに含まれ、当事業所から所長以下5名がウォーキングに参加し、2名が東金ダムでの見学対応等を行いました。

当日は好天にめぐまれ、集合場所である城西国際大学（高円宮殿下記念スポーツパーク）に150名が集まり、両総土地改良区事務局長及び千葉県ウォーキング協会副会長の挨拶の後、出発し、午前中は、両総用水円筒分水口、千葉県立農業大学校、公平水路橋を経て、両総第3揚水機場に至り、午後に参加者が東金ダムへ到着しました。

東金ダムでは、見学者用の案内板やパネルを用いて房総導水路の説明を行い、また、今年から、希望される方に対して（両総ウォーク時の限定で）東金ダムカードの配布を行いました。（東金ダムのダムカードは、通常、東金文化会館若しくは、当事業所で配布しています。）多くの参加者が興味を持たれ、カードを希望されていました。

その後、参加者は、八鶴湖畔を経て、ゴールの両総土地改良区に無事到着しました。



円筒分水口（両総用水）



公平水路橋（両総用水）



東金ダム（房総導水路）



ダムカードの配布

主催：NPO法人 千葉県ウォーキング協会

共催：両総土地改良区・両総用水事業推進協議会

後援：千葉県山武農業事務所・東金市・山武市・城西国際大学・独立行政法人水資源機構
千葉用水総合管理所・山武農業振興普及協議会